

令和4年度 第3回 市政モニター一会議報告書



市長講演の様子

新居浜市 企画部 秘書課

令和5年3月

(事業の目的)

新居浜市では、市政に関する市民の皆さんの意見をお聴きし、市政運営の参考とするために、市政モニター制度を設けています。

今回の市政モニター会議は、参加希望いただきました市政モニターの皆さんと、市長との直接対話を通じて、市政の状況などをお知らせするとともに、いただいた意見を今後の市政運営の参考とさせていただくことを目的に実施しました。

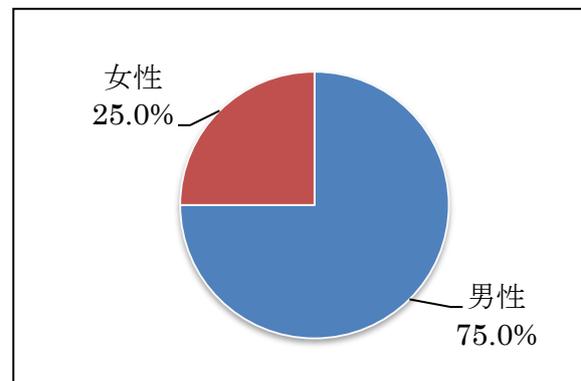
(日 程) 令和5年2月17日(金) 9:30 ~ 11:50

(場 所) 新居浜市消防防災合同庁舎 5階災害対策室

(参加者の状況)

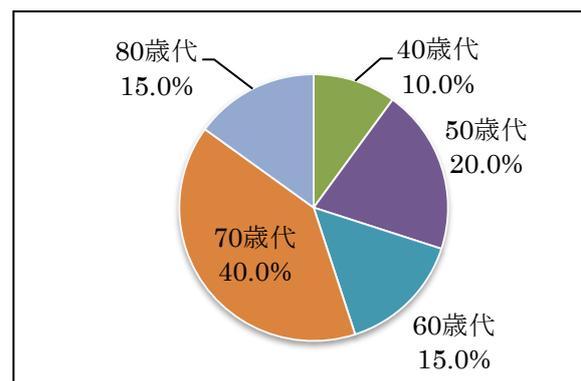
<性別>

	人数	割合
男性	15人	75.0%
女性	5人	25.0%
合計	20人	100.0%



<年代別>

	人数	割合
20歳代	0人	0.0%
30歳代	0人	0.0%
40歳代	2人	10.0%
50歳代	4人	20.0%
60歳代	3人	15.0%
70歳代	8人	40.0%
80歳以上	3人	15.0%
合計	20人	100.0%



※年齢は令和4年4月1日時点

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

(内 容)

①市長講演 「新居浜市政について」

*市長より、今年度を実施した主な事業、来年度に計画する主な事業等について説明

<はじめに>

「第6次長期総合計画」の推進について

～豊かな心で幸せつむぐ～ — 人が輝く あかがねのまち にいはま —

<令和4年に実施した主な事業>

～「将来都市像」を実現するための6つのまちづくりに沿って～

- 1 未来を創り出す子どもが育つまちづくり
 - ・学校給食センター建設事業
 - ・給食支援事業
 - ・子育て世帯支援事業（市独自給付）
- 2 健康で、いきいきと暮らし、支え合うまちづくり
 - ・生活困窮者生活支援事業
 - ・医師確保対策
- 3 活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生み出されるまちづくり
 - ・クルーズ船につぼん丸の発着
 - ・あかがねキッズパークリニューアル事業
 - ・プレミアム付き地域商品券発行事業
- 4 安全・安心・快適を実感できるまちづくり
 - ・主要幹線道路の整備
 - ・川西地区おでかけタクシー（デマンドタクシー）試験運転
 - ・滝の宮公園リニューアル事業
 - ・高柳公園整備
 - ・河川改修事業
 - ・カーボンニュートラルポート（CNP）の推進
 - ・新居浜LNG基地、新居浜北火力発電所の事業開始
- 5 人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり
 - ・端出場水力発電所整備事業
 - ・都市間交流事業
 - ・地域づくり促進事業
 - ・総合運動公園整備&市民文化センター建設事業
- 6 人と自然が調和した快適に生活できるまちづくり
 - ・下水及びし尿の一括処理
 - ・新居浜市気候非常事態宣言
 - ・斎場大規模改修事業
 - ・ごみの一部有料化
 - ・水道料金・下水道使用料の改定
 - ・SDGs未来都市

<トピック>

- ・マイナポイント・あかがねポイント

- ・スマートシティの推進
- ・「ふるさとにはま便」学生支援事業
- ・地方創生インターンTURE-TECH（ツレテク）
- ・プチモニを提案した高校生が快挙「国際子ども平和賞」受賞
- ・生活ガイド・Com調べ「全国住みたい街ランキング」四国1位

<おわりに>

新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願うとともに、市としても感染症対策と社会経済活動との両立を図るべく、各種施策に全力で取り組む

誠実・決断・実行 → 『笑顔輝く新居浜市』の実現

②市長講演の内容に関する質疑応答

*いただいた質問と市からの回答（※ご質問・回答は内容を要約、編集しています。ご了承ください。）

	質問	市の回答
1	平成16年災害の時にも溢れて大変だった東川金栄橋について、先日ボーリング工事などもしていただいていたようだが、いつぐらいに橋梁架け替えができるのか伺いたい。	平成16年災害で当該場所から溢れ、それ以後も台風が来るたびに橋桁すれすれまで水が至るので、早急に対処するべく県に要望をしていたところ、昨年基本整備計画を策定していただき、早速ボーリング調査なども行っていただいているところです。これから事業を進めていくのですが、その場所だけではなく、東川全体のやり直しが必要で、河川の場合は下流側から施工していかないと水のはけ口がないため全体的な視点で取り組む必要があります。しかしながら、当該場所については特に早急な対応を県に要望しているところでございます。改修のためには道路工事の必要も出てきますが、一番問題になるのは用地所有者の方の了解をいただく部分ですので、今県と協力して市も用地問題の解決に取り組んでいるところです。 (市長)
2	講演の中に福祉という言葉が出てこなかったが、障害者の方への、生活改善とか、利便性向上とか、そういう部分については目新しいものがないと考えているのか。	今日の講演の中には出ておりませんでした。福祉については従来から、非常に重要だと考えており、それぞれ予算の中で対応をしているところでございます。 デマンドタクシーや或いはコロナ禍で疲弊した生活困窮者に対する支援事業などにつきましては、講演の中でもお話ししましたが、その他の点については従来の事業を充実していきたいと考えております。 (市長)
3	ごみについて。ごみ有料化以後、持ち込みごみについては約5分の1まで減ったということだったが、定期収集している持ち込みごみ以外のごみは増えているのではないかとと思うが、状況を伺いたい。	持ち込みごみを一部有料化する際に最も心配したのは、持ち込みごみが減っても、不法投棄が増えたり、或いは定期収集ごみが増えたりするのではないかとということを心配しておりましたが、そういう情報は今の所入っておりません。 (市長)

	<p>清水自治会の漁業団地では、猫を捨てに来たり、軽トラで大きなごみを持って来たりすることが多々ある。その原因は昔の海苔の作業小屋が老朽化しており、そこへ捨てに来ているようで自治会も非常に困っている。これについては、農林水産課と廃棄物対策課に話をし、口頭ではなく文書で回答してくれるようお願いしているので市長からもよろしく伝えていただきたい。</p>	<p>早速担当課に話しておきます。そういうことがあれば監視カメラの設置なども考えないといけないと思われるため、早速関係課のほうに対応を指示することといたします。定期収集のごみについては、増加するかもしれないと予想していたが、実際のところは増えておりません。持ち込みごみの量も相当数減少し、定期収集もあまり変わっていないのが実態。ただ、不法投棄については今後徹底して取り組んでいくことといたします。</p> <p>(市長)</p>
4	<p>スマートシティの推進の農業分野について、大島の白いものブランド化を図るといった話があった。これまでも新居浜の宝としてアピールしていきたいというような話があったが、いかんせん大島の農家さんが高齢化して、人口減少がどんどん進んでいる。そういうことも含めブランド化が可能なのか伺いたい。</p>	<p>新居浜唯一の特産品である白いもでございますので、何とか伸ばしていきたいという思いは持っております、今地域おこし協力隊の方1名に専属で白いもの栽培をさせていただいております。ただ、残念なことに、地域の方々の高齢化により、耕作を辞めていく方が出ているのも実態でございます。</p> <p>以前は植え付け時や収穫時に市内の方から若者が手伝いに行くような取り組みも実施していたと聞いておりますが、できればそのような体制を整備して、何とか白いもの耕作地を拡大したいと思っているのが今の状況でございます。可能ならば地域おこし協力隊も更に要望して増やしていきたいと考えております。</p> <p>それと今回スマートシティということで、ここで取り組んだのは、イノシシによる害を減らすため、電気柵を設置し、その電気柵の監視にITを活用し、さらには品質管理等にもITの活用を図っております。大変な状況であることは把握しておりますが、このようなIT技術を生かし、省力化を図りながら、また携わっていただける方の確保にも取り組んでいきたい、何とかして大島の白いものを残したいと考えております。</p> <p>(市長)</p>
5	<p>母子家庭で頑張ってお子さんを高専に通わせている方がおり、市独自の子育て支援事業を喜んでいたが、18歳までという基準によりもうすぐ支援が終了してしまう。高専の子供に対しては、卒業までの5年間は、子育て世帯支援事業の対象とできないか。新居浜には大学がないのだから高専生を大事にするとよい。そのために年齢ではなく卒業までに変更するお考えはないか。</p>	<p>18歳で線を引いておりますので、4年生、5年生になると今の制度では難しい状況でございます。今後の課題としてどうするかというのはあります。高専は唯一の高等教育機関でございますことから、市としても大切にしていきたいと考えております。</p> <p>(市長)</p>
6	<p>総合運動公園の整備について、テニスコートは予定されていないのか。</p>	<p>申し訳ございませんが、テニスコートにつきましては山根に6面あるほか河川敷にもあり、この構想の策定の段階から入ってはおりませんでした。</p> <p>(市長)</p>

7	<p>小学校のトイレについて、洋式トイレの整備が進んでいないと聞いている。最近の子供は洋式トイレじゃないと使いにくく並んで利用しているというような話も聞くが、整備状況を伺いたい。</p>	<p>学校トイレの整備については、市民の皆様から多くの要望をいただいておりますので、今年度と来年度で各小中学校 60%まで整備を行うということで現在事業を進めているところでございます。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>
8	<p>ごみの有料化について新居浜市は県内でもごみの排出量が多く、その改善のために一部有料化されたのだと思うが、確かにホームページで確認すると搬入ごみや一般のごみは減っているようである。それは基本的には、新居浜市が収集している量や持ち込み量が減ったということで、発生量と収集量には恐らく誤差がある。家に溜めてあったり、不法投棄だったりということがあろうと思う。</p> <p>その中で、収集量ではなく、ごみの発生量そのものを減らす方策はなにかあるか。</p>	<p>今回の一部ごみの有料化に取り組むに当たって、有料化しても必ずしもごみは減らない為、有料化と並行していわゆるリサイクル、リユース、ごみを出さない、ごみを作らない、というような取り組みをやって欲しいと考えております。現在実施しておりますのは、民間の事業者の方で、リユース、リサイクルに取り組んでいただいているので、これまで清掃センターに搬入していた分を、その民間事業者へ持ち込んでいただくと、無料で引き取っていただけて、その事業者がリユースするというふうな取り組みがありますので、そういう事業所を市民の方にご紹介をするという取り組みは、もう始めております。もう一つはやはりごみを出さない生活様式に取り組んでいかなければならないと考えております。例えば生ごみのリサイクルとかですが、そのようなことも今後考えていかなければならないと思っています。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>

・モニター意見発表

*いただいた意見と市からの回答（※ご意見・回答は内容を要約、編集しています。ご了承ください。）

	意見	市の回答
1	<p>【新居浜市の将来像について】</p> <p>先ほどの講演の中にあつた長期総合計画が、10年後に終了した時点で、どういう町になっていて、どんな夢が叶うのかというところを明確に示してほしい。</p> <p>最後に述べられた住みたい町全国1位になるとか、そのような目標やテーマやスローガンなど、市民に明確にわかるようなビジョンを示してほしい。</p>	<p>10年の長期総合計画では「未来を創り出す子どもが育つまちづくり」というような抽象的な目標を定めておりますが、それぞれの目標についてKPI（重要業績評価指標）という目標値を定めており、それが毎年どの程度達成できたのかという数値目標を検証することにより着実な目標達成を目指しております。例えば何年度に人口を何人維持するなどの皆さんの幸せに関する項目について、具体的な目標数値を設定しておりますので、その数値が10年後にどうなるかというのがひとつの客観的な指標として見えるのではないかと考えています。また改めてその数値をご説明できる機会があればご説明させていただきたいと思っておりますし、長期総合計画の事業項目ごとに目標数値が設定されておりますので、その達成に向けて今後努力をしていきたい。そうすることによって、「～豊かな心で幸せつむぐ～ 人が輝く あかがねのまち にいはま」を実現できるのではないかと考えています。</p> <p>長期総合計画につきましては、毎年確認しながら必要に応</p>

		<p>じて見直しを行い、5年が経過した時点では、全面的な見直しを行い、目標達成を目指し取り組んでまいります。</p> <p>(市長)</p>
2	<p>【大学誘致について】</p> <p>若い人を増やすのであれば、大学があるのが一番であると思う。理系ならお金がかかるが、他の市(西条市など)と協力して、文系の大学(法学部、経済学部、商学部、文学部だけでも)を設置してはどうか。最初の内は廃校の教室を利用して授業を行ったり、市営住宅の空室を安い料金で学生に貸したりなどすれば費用も抑えられるのではないかと。一度市外の大学へ行ってしまうと、なかなか戻ってこられない。移住者を入れてもその子どもたちが大学でよそへ出て行っては意味がないと思う。こちらで就職した人には大学費用のいくらかを返還するなどでもいいのではないかと。</p>	<p>大学の設立は、地元進学への推進による若者の定着、商店街や地域産業の活性化、地域の文化水準の向上、人材育成、高等教育機関の整備・充実による雇用機会の創出などが期待されており、進学機会の確保や親の教育費の負担軽減にも繋がるものと考えております。</p> <p>しかしながら、大学設立に伴う社会基盤整備や公共交通機関整備など、ハード整備に係る財政的負担、さらには急激な人口減少、少子高齢化が進む中で学生の確保の見通し、将来的な経営の継続性、安定性など、様々な課題がございます。大学誘致がもしできるようであれば長期的に検討してみたいと思いますが、どこの自治体も同じようなことを考えている中、設置後の学生確保など短期での設置は厳しい状況でございますので、当面の対策としては、大学学部卒業と同じ学士(工学)の学位が取得できる新居浜工業高等専門学校の専攻科による若者の定着を推進してまいります。</p> <p>(市長)</p>
3	<p>【公民館の今後について】</p> <p>自治会を公民館の下につけてサークル活動のようにしたいと言っていたが、その後どう進展しているか。進捗について点検してほしい。</p> <p>関連して、自治会の加入促進について具体策があれば伺いたい。</p>	<p>現在、新居浜市では、持続可能な暮らしを実現するため、自治会、各種団体、企業など、地域を良く知る様々な団体が連携・協力して、地域課題の解決に向けた取り組みを進める地域まちづくり組織のモデルを作ってまちづくりの組織化を進めているところですが、公民館については、新しい組織における活動拠点として位置づけたいと考えております。公民館活動などで現在行われているサークル活動などは従来どおり行っていただくようになるので、自治会を公民館の所屬下に置くというのではなく、公民館も含めて、諸団体をひとつにまとめたまちづくり組織を作ろうとしておまして、公民館は公民館として社会教育を担っていただくことには変わりなく、今後まちづくり組織の結成を進めつつ問題点を洗い出しながら整備をしていきたいと考えています。</p> <p>自治会加入促進につきましては、年々加入率が低下している自治会組織だけを対象にするのではなく、住民全体を対象とした組織を立ち上げようとしているのがこのまちづくり組織でございます。しかしながら整備には時間がかかりますので、引き続き自治会加入の促進も並行して進めていくつもりです。</p> <p>(市長)</p> <p>自治会の加入促進につきましては、新居浜に新たに転入された方に加入促進パンフレットや、自治会活動の紹介などの案内資料を差し上げています。また、市政だよりで自治会の活動を広く市民の皆様へ報告する活動も併せて実施してお</p>

		<p>ります。自治会の皆様と一緒に協議を進めておりますが、即効性のある方策が見つからないというのが現状でございますが、自治会の皆様が、防災や福祉、子育てなど市の交付金を活用して、市民の皆様の支え合いや助け合いにつながる活動を地域の皆様それぞれに企画立案してもらっているのも、そういった活動を広く市民の皆様にPRしていったら関心を高めるとともに、自治会の活動内容について知らない人もたくさんおられますので、自治会の活動を若い人にも広報していくことで加入促進を図っていきたくと考えております。</p> <p style="text-align: right;">(市民環境部長)</p>
4	<p>【地域まちづくり組織の進行状況と課題について】</p> <p>現在2つの地区で進められている「地域まちづくり組織」モデル地区での進行状況や課題となる事やその解決方法など、また、全地域への展開計画時期などについて伺いたい。</p>	<p>地域運営組織モデル事業は、宮西校区及び中萩校区の2校区において組織づくりに取り組んでおります。これまでに、地域において設立準備会を立ち上げ、地域課題や地域資源、地域の魅力の洗い出しや現状把握など地域が主体的に取り組んでいただいております。現在、地域独自のまちづくり計画策定の最終段階に入り、今年度末には新しいまちづくり組織が設立される見込みです。</p> <p>モデル事業の課題につきましては、多様な団体や幅広い世代の地域のまちづくりへの参画など、後継者等人材確保の難しさが挙げられ、持続可能なまちづくりを推進していくには、地域のまちづくり活動における人材を育成していくことが非常に重要であると思われまます。今後は、令和5年度に2校区での取り組み成果等を検証した上で、令和6年度以後に地域の皆さまと話し合いながら全地域に展開していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>
5	<p>【防災行政無線について】</p> <p>現在の放送設備では、特に行政放送(AI)が聞き取れない。家の気密性や高い建物、樹木のせい。以前、校区集会等では意見を出し、有線放送の整備をお願いした。市民全世帯ではなく、必要と希望する世帯に市からの一部補助で整備するか、ネットワークシステムで防災ラジオの有効活用を望みたい。</p> <p>※欠席のため、当日の質疑応答はなし。質問に対する回答は右のとおり。</p>	<p>公民館などの公共施設に設置している防災行政無線及び自治会所有の放送設備の拡声装置を活用しており、屋外放送となるため、天候や建物の影響を受けやすく聞き取りの環境に差異がありますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>平時の行政放送につきましては、コミュニティFM放送への緊急割り込み要件を満たさないものは、屋外拡声放送を行っております。</p> <p>放送の補完といたしまして、電話応答システム(050-3797-2180)及び市公式LINEの行政放送から内容を確認できますので、ご活用をお願いいたします。</p> <p>防災ラジオについては、推定震度4以上が予想される緊急地震速報が発表されたときなどの6項目の緊急放送が必要となった時に、信号を送り自動起動させ、通常の放送に割り込んで放送をおこないます。</p> <p>この防災ラジオは、平成30年6月から販売を開始し価格が9,300円(令和2年4月からは消費税率引上げ分等を加算)のところ、市民の皆様は市助成により3,000円で購入することができますが、令和4年度末(令和5年3月)を持って助成事業を終了いたします。</p> <p>販売実績については、令和5年1月末までの4年7か月の</p>

		<p>間で3,175台となっています。</p> <p>その他、緊急避難対象地区にお住まいの方、大島地区の方、国領川及び渦井川の沿岸の自治会役員又は防災リーダーの方には、防災ラジオを無償貸与しております。</p> <p>なお、災害に関する情報については、防災行政無線、コミュニティFM放送、防災ラジオのほかに、エリアメール、メールマガジン、市ホームページ、市公式LINEなどのSNSでも発信しておりますので、情報を得る手段として御活用いただきますようお願いいたします。</p>
6	<p>【市民活動サロンと国際交流センターについて】</p> <p>市民文化センター1階にある市民団体の交流スペース（元まちづくり協働オフィス）は利用者も少なく、閑散としているという感が否めない。地域コミュニティ課と国際交流センターとの官民癒着としか思えない。こうなったのは元まちづくり協働オフィスが一定の役割を終えたという部分もあるので仕方ないとも思うが、元運営協議会の会長として寂しい。そもそも外国人の人たちの問い合わせ等の窓口が必要なら、あのような中途半端な一室では不十分で、ちゃんとした場所を作るべきであると思われる。であるから、癒着などではないと言うのなら、なぜそうなったのか納得のいく説明をしてほしい。</p>	<p>元運営協議会会長さんには大変お世話になりましたが、令和4年4月に開設をする段階で市からの説明が遅くなり、また開設までの期間も短かったということである議論があったところでございますが、なんとか開設をさせていただきました。スタッフは不在となりましたが、登録団体に対して貸館業務（ミーティングスペース）、コピー機、印刷機等の機器の利用（有料）、プロジェクター等の機器の貸出しを行っております。市民活動サロンの登録団体は、令和4年12月末現在で54団体の登録があり、令和4年4月から12月末までの間に、延べ162団体、744人がミーティングスペースを利用いただいている状況です。</p> <p>新居浜市国際交流協会については、平成31年3月に、市内に暮らす外国人の生活支援、地域の国際理解促進など多文化共生のまちづくりを推進する組織として設立され、同年4月より新居浜市国際交流協会事業を委託しております。例えば日本語教室や外国語講座、あるいは料理教室など数々の事業を行っておりますがそれは違う場所で実施しております。国際交流センターは相談窓口という形で運営をさせていただいており、当面はセンターでいろいろな対応をやっていきたいと考えているところでございます。</p> <p style="text-align: right;">（市長）</p>
7	<p>【ごみの収集について】</p> <p>近隣の住民の意見を聞いてきましたが、私が住んでいる地域では8軒に1か所の収集ネットがあるが、その道路向かいには1軒に1か所のごみ収集ネットがある。近所の人も高齢化が進む中、ネットを設置する場所のお願いに市役所に行ったが、自治会長の判をもらってくれなどいろいろ言われる。向かい側は新興住宅が建っているので1軒に1か所のネットがついている。自治会の権限はどこまであるのか。自治会に加入していないとごみは捨てられないのかという声も聞く。どんどん自治会員が減少する中、自治会に入らなくて</p>	<p>高津校区の実態はこちらでも調べさせていただきます。ごみステーションは可燃ごみについては原則10世帯に1つ、総合ごみステーションは30世帯で一つということで自治会長、住民からの申し出によって認めるという形にしています。自治会とごみステーションの問題は昨年度、議論をいたしまして、自治会にごみステーションの管理をしていただいているのが実態でございます。不法投棄や清掃や収集残しの整理を自治会にさせていただいているということで、自治会未加入者のごみステーション利用を認めていただいている自治会に対しましては交付金として若干のお金を出して管理をしていただいています。非自治会員の人は捨ててはいけないのかというと、そうではなくて、捨てていただくのは大いに結構ですが、ただしその方には相応の負担、例えば清掃への参加や管理経費の負担をしていただく場合などは自治会がルールを決めてお願いをしているはずでございます。</p> <p style="text-align: right;">（市長）</p>

	<p>もごみは捨てられるし、市政よりは市役所に行けばもらえる状況である。その辺の矛盾について説明をお願いしたい。</p>	
8	<p>【Uターン支援策について】 大学生や大学院生へのUターン支援について。 自宅から通える大学がない為、新居浜市を離れ大学生活を送る事になるが、貴重な人材に新居浜市に戻ってきてもらう為に新居浜市として何かしているか。自治体や企業では奨学金の代理返還制度を設けていたりするところもあり、調べたら新居浜市も名前が載っていた。知らなかったもので、どの程度皆さんに知られているものなのかと思う。制度のPRをすれば戻る人も増えるのではないか。 また、Iターンについてだが、昨年暮れに地域協力隊の件で移住失敗の動画が有名になっているのを見かけて住民として悲しい思いをした。せっかくシティプロモーションしているので、このようなことにならないといいと思う。</p>	<p>市内の医師不足解消のため、医師に対する奨学金制度を設けていることにつきましては、先ほどの講演にてご説明させていただきましたとおりでございます。一般の学生につきましては、進学等で本市を離れた若者のUターン促進を図るため、市内の中小企業等に就職した若者を対象に「奨学金返済支援事業」を実施しておりますが、PRが足りていない部分もございますので、今後もっとPRをしていかなければならないと考えております。もう一つは、若者との継続した関係の構築を図るとともに地元への愛着を深めてもらうため、今年度新たに学生版全国「にいほま倶楽部」を創設し、年に1回交流会を開いて、意見交換等を実施しております。その中で、今年度は松山での会に学生さんをお招きしようということで、学生の方々に来ていただき、そこで合同の企業説明会も開催し、ぜひ新居浜市に帰ってきてもらいたいという話もさせていただきました。東京、大阪でも先日実施しましたが、そこへも学生さんをお招きいたしました。現在872人の方に登録いただいております、ネットワークができておりますので、そこを通じて就職情報等様々な情報を発信し、Uターン促進につなげたいと考えております。またふるさとにいほま便という3,000円相当の特産品を学生に送付させていただくというような取り組みを行っているところです。 地域おこし協力隊の件につきましては、大変残念な結果であると私も思っております。この方とは問題後もお話をさせていただきましたが、非常にまじめな良い方で、一方別子山の自治会の方も地域の為に一生懸命頑張っていた中、双方の意見が合わず、大変残念な結果となりました。他にも地域おこし協力隊の方はおり、その方々は今でも順調にやっただいております。出て行かれた方について市がリアクションをすると、またそこから炎上するということがありますので今はじっと耐えているのが現状でございます。耐えて新しい人が入ってくる状況を整えたいと思っております。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>

9	<p>【新居浜太鼓祭りについて】</p> <p>2022年新居浜太鼓祭りは、全国ネットのTVで工場前の統一行動での乱闘騒ぎ現場が放送され、新居浜市民として非常に恥ずかし思いをした。基本的に太鼓祭りは自治運営なので、市は後方支援ということはいくわかつては、各地域の太鼓台運営委員会、運営協議会によってやり方、取組も大いに違いがみられる。一番問題であるのは川西地区で、ここ20年くらい喧嘩武装しての運行を黙認していたり、二輪をつけていないものは喧嘩でないという取り扱いをしたり、喧嘩両成敗が徹底されていなかったりする。あるいは、一宮神社建替えや元号変更などに伴って出場停止のはずの太鼓台を出場させたりするなど決まったことをすぐに変更することもある。同じ自主運営でも岸和田だんじり祭りの組織（年番長・・・）西条祭りの組織（鬼頭会・・・）などはうまくいっている。各協議会でのルールなどをHPでアピールするのが必要ではないか。平成30年に太鼓祭り推進委員会で太鼓祭り平和運行実現に向けた実施計画があるが、殆ど実現されていないので、市長から再度、この提言をベースに、どうしたら平和運行が実現できるのか推進委員会の位置づけ含めて組織をすべて見直していただきたい。</p>	<p>新居浜太鼓祭りが暴力行為によって「危険な祭り」だと思われてしまうことは大変残念なことであり、新居浜市民が望む秋祭りの姿ではありません。また、何よりも、先人から受け継いだ太鼓祭りの伝統や誇りが暴力によって歪められてしまうことは断じて許されることではございません。市のイメージアップにいろいろ取り組んでおりますが、あのようなことがあると、折角のよいイメージもすぐに損なわれてしまうということで、とある企業さんからもこのようなことをやっていると新居浜に人が集まってくれないというようなお叱りも受けたところでございます。</p> <p>今年のお祭りではなんとか平和運行が実現できるよう思っています。先ほどお話のあった西条、岸和田も同じだと思いますが、祭礼ということで行政が直接運行に関わるということにはしておりませんが、西条や岸和田では運営の方がイニシアティブをお持ちだと伺いましたので、そういう方がおられると違うかもしれませんが、新居浜の場合は先ほどお話がありました太鼓祭り推進委員会があり、そこに市も入っており、警察もオブザーバーとして参加していただき、各自治会、運営委員会・運営協議会、商工会議所、女性ネットワーク、神社庁なども入っておりますので、昨年のことを受けて、まず、この推進委員会で鉢合わせや暴力行為の禁止、罰則の強化、警察当局との協力について検討・議論していただき、そこで私の方からも強く申し入れをしたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">（市長）</p>
10	<p>【これまでの取組と今後の観光展望について】</p> <p>最近町を見ていると綺麗になった、将来が楽しみだと感じる。平成30年3月に策定された、観光振興計画について進捗状況と今後の予定を伺いたい。</p>	<p>直近では、滝の宮公園のリニューアル事業や、若宮小学校跡地を利用したワクリエ新居浜の開設などが主なものでございますが、それに伴う観光客入り込み客数の変動につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が出る前は、市内全体で約260万人を超えておりましたが、現状ではコロナ禍において、令和3年度には約120万人と約半減している状況でございます。これはやむを得ない状況ではございますが、国においてもアフター・コロナを見据えたインバウンド観光施策に積極的に取り組むとされていることから、市においても国の施策に対応し、引き続き観光客や観光消費額の増加に向け取組みを進めてまいりたいと考えております。直近の観光施設整備につきましては、旧端出場水力発電所が28日にオープンして一般開放される予定となっております。マイントピ</p>

		<p>ア別子の端出場と一体となった観光振興に大いに努めていきたいと考えているところでございます。まだ、途中ではございますが、住友山田社宅の整備をし、一帯を含めた産業遺産の周遊ルートの整備も今後進めていきたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>
11	<p>【高齢者交通機関利用パスの発行について】</p> <p>高齢者用交通機関利用パスの発行。</p> <p>最近高齢者による交通事故の発生のニュースを頻繁に見聞きする。私も後期高齢者になったら免許証を返納しようかと考えているが、問題は返納後の移動手段である。名古屋市では高齢者に対して少額の負担でパスを交付してくれて、そのパスで市バスも地下鉄も乗ることができ、新居浜とは比較にならないくらい交通網が発達しているのもそれで充分だった。町へ出る、病院へ行くことを考えると交通機関を利用しなければならないが、減っていく年金の中で交通機関の負担は大きい。無料というのは無理かもしれないが少額負担でフリーパスなどを考えられないか。店の活性化などにもつながるかもしれないし、滝の宮公園の駐車場不足の解消などにも役立つのではないか。</p>	<p>高齢化社会となり、障害者の方も含めまして高齢者の方の移動手段の確保というのは大きな問題であると思っております。現在、運転免許証を自主返納された方向けに、交通事業者独自の取り組みとして、せとうちバスは運賃半額割引、タクシーは運賃1割引のサービスが既に行われているところでございます。また、先ほどの説明の中にもありましたがデマンドタクシーを上部、川東地区では既に導入しておりますが、川西地区でもこれから施行されることにより全市がカバーできるようになります。その場合も運転免許返納者には半額という扱いになっておりますので、当面はそれを利用させていただきたいと思っております。</p> <p>ただ、これからまだまだ高齢者が増加する中、いわゆるフリーパスのような安く移動できる手段をどのようにして確保していくかというのは非常に大きな課題であると思っておりますので、今後引き続き検討を進めていきたいと思っております。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p> <p>せとうちバス運賃半額サービスについては、免許返納した場合に運転経歴証明書を警察で発行してもらえるので、それをバスに乗車する際に提示していただければ運賃が半額になるというものでございます。またその運転経歴証明書の発行手数料1,000円は新居浜市で手数料負担しております。</p> <p style="text-align: right;">(経済部長)</p>
12	<p>【滝の宮公園のリニューアルについて】</p> <p>滝の宮公園リニューアル委員会に参加させていただいた時に、滝の宮公園第3駐車場に消火栓もしくは防火水槽の設置をお願いした。防火水槽は難しいと思うが消火栓なら検討の余地有るかもとのことだった。滝の宮公園第3駐車場の消火栓は実現しそうか。</p> <p>山の上に消火栓が1つあれば山火事などの時、大変役立つと思う。今は、大池などからポンプ車何台か連れて上げないと水利の確保が出来ない。大きな水道管を敷設しているので今なら可能ではないか。</p>	<p>滝の宮公園第3駐車場への消火栓の設置につきましては、消防本部と上下水道局との協議において、滝の宮公園内に配水池整備なども行っているところでございますので、ちょうどタイミングはよいのですが、第3駐車場が配水池よりも高い位置にあるため水圧が不足する問題があること及び水道施設整備の技術基準により配水本管への設置は難しいようです。かといって下から水を上げるかという費用対効果の面で難しいところがあります。以前私も見に行った時に消火用のポリタンクを見かけましたが、本格的な大きな防火水槽は無理だとしても、初期消火をするための防火水槽を設置することは可能ではないかと思っておりますので、検討を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(市長)</p>

13	<p>【部活動の地域移行について】</p> <p>スポーツ庁からの提言で、部活動の地域への移行が言われているが、新居浜市ではどのように持っていく予定か聞かせてほしい。特に中学校の部活動をどうするのか、受け皿を教育委員会が考えるのか、各中学校が単独で探していくのか、色々の形が見えて来るとは思いますけどどこまで枠を拡げていく予定か等お聞きしたい。</p>	<p>部活動をどうするのかということについては、教育委員会、市文化スポーツ局、スポーツ協会、文化協会、PTA、学校等、関係者による部活動の地域移行に関する検討委員会を設置して来年度中に新居浜市としての推進計画を策定するとともに、受け皿についても検討委員会で協議していく予定です。</p> <p>地域移行については、競技ごとに受け皿となる団体や指導者等の状況が異なることから、一斉に移行させることは困難であるため、まずは休日の部活動について、可能な競技から段階的に移行できるよう取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>(市長)</p>
14	<p>【学校の自然環境について】</p> <p>道路拡張により学校内の緑がたくさん失われたところがある。学校の自然環境について。これからどう緑を守っていくか伺いたい。</p>	<p>高津小学校の緑については道路課とよく相談し、回復できればと思います。文部科学省の学校施設整備指針において、屋外の緑地については、植栽の持つ機能を積極的かつ効果的に学校施設に取り入れることが重要であるとされており、樹木、植え込み、花壇等について、児童生徒や近隣住民の安全確保する上で問題がなければ、できるだけ残していきたいと考えております。</p> <p>(市長)</p> <p><補足：担当課確認分></p> <p>高津小学校内の緑につきましては、道路工事の範囲内の樹木等の扱いについて学校関係者と協議した結果、樹木が古く移植しても枯れてしまう可能性が高いこと、また学校内に移植に適当な敷地がないことなどから、今回は伐採処理することとなりました。</p> <p>今後も工事における学校内の緑地の保護については、十分留意するよう努めてまいります。</p> <p>(道路課)</p>
15	<p>【壮年のサッカー大会について】</p> <p>壮年(40歳以上)のサッカー競技の中四国大会を提案したい。</p> <p>40、50、60、70代、80代区分大会を。会場は東予地区で、土日1泊4チーム、2試合、4試合新居浜市主催、25年前関東で経験あり、現在120チームで開催中。</p>	<p>各種スポーツ大会を開催するのは大変すばらしいことだと考えており、今でも剣道などは西日本、少年ソフトボールも中四国あたりから来ていただいて大会を開催しております。このような場合には市からも補助金を出したりもしておりますが、実現できるのであればぜひ実現したいところではございますが、お世話をさせていただくのは協会の方をお願いしなければならぬので、協会の方からそのようなお話があればぜひ協力したいと考えております。</p> <p>(市長)</p>

(参加者アンケート)

市政モニター会議に参加いただいたモニターの皆さんに、感想やご意見をうかがい、今後の参考とするためにアンケートを実施しました。

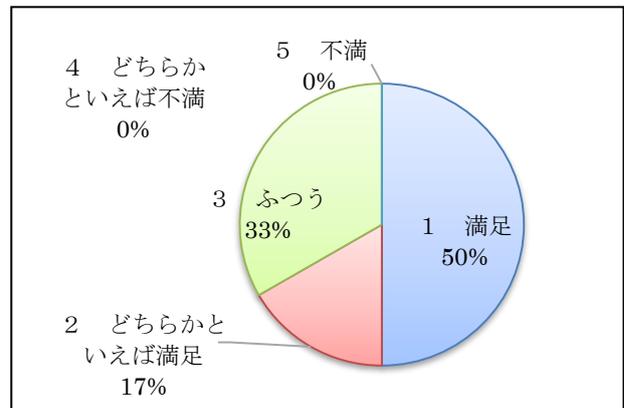
<アンケート概要>

調査対象者	第3回市政モニター会議参加者 20人
調査期間	会議実施日～令和5年3月1日(水)
調査方法	会議実施時にアンケート用紙を配布し、後日郵送で提出
回収数(率)	18人(90.0%)

<調査結果>

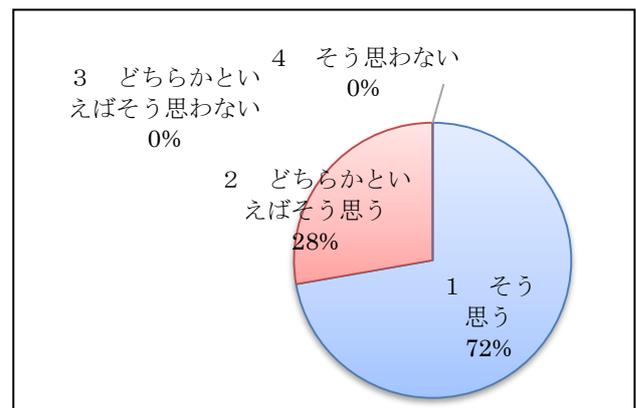
Q1. 今回の市長講演や意見交換の内容について、5段階の満足度でお答えください。(1つ選択)

1. 満足	9人
2. どちらかといえば満足	3人
3. ふつう	6人
4. どちらかといえば不満	0人
5. 不満	0人
合計	18人



Q2. 今回の意見交換会に参加して、市の取り組みに対する理解や関心が高くなったと思いますか。(1つ選択)

1. そう思う	13人
2. どちらかといえばそう思う	5人
3. どちらかといえばそう思わない	0人
4. そう思わない	0人
合計	18人



Q3. 今回の意見交換会に参加しての感想やご意見を自由に記入してください。また、今回の意見交換会で発表できなかった、市政へのご意見、ご提言がありましたら記入してください。(自由記入)

たくさんの感想やご意見をいただき、ありがとうございました。いただきましたご意見・ご提言につきましては担当課にもお伝えし、今後の行政運営に活用させていただきます。本報告ではその一部を紹介し
ます。

【会議について感想・市政モニター制度について】

- ・意見要旨に書かれていない内容を長々と質問している人が多かった。司会者がコントロールしてほしいと感じました。
- ・スタッフの方々の丁寧なご対応、大変感心しております。市政意見交換会、皆様の色々な意見を聞けて大変勉強になりありがとうございました。
- ・建設的な意見が多く、大変勉強になりました。常日頃より刺激が必要ですね。諸目標必達の為、市民の一体感が大切ですね。
- ・意見交換会で交換したことをまじめに受け止めてほしいです。
- ・書いていない事をしゃべってしまい、会の進行にご迷惑をおかけしてすみませんでした。次からは「何分間」と「原稿用紙何枚分」と指定されれば準備の時点で気をつけます。
- ・各会・各層及び各年代に対する施策は、多岐に亘り大変充実したものになってきていると感じています。今回の会議では施策のベースとなる歳入側の説明はありませんでしたが、今後とも歳入増加への取組（短期及び長期）として、税収増対策及び施策改善実施を積極的に推進いただくよう、よろしくお願いいたします。対面での会議開催ありがとうございました。
- ・意見交換会とするなら指名制で意見を述べて、その回答をするだけにとどまらず、同席のモニターの関連質問をも受けて、もっと時間をとって質疑応答ができる場とするのが良いと思います。
- ・初めての市長との会議であり、大変よかったと思います。下記事項について、ご検討いただければと考えます。①質問数を厳選し、もう少し深いものになるように②質問者側の問題としてもう少し、簡潔に要領よくすべきだと思います③各部長もご出席いただいていたので、発言も欲しかった。初めての会議出席（市長との）であったが、大変良かったと思います。お世話になり、ありがとうございました。
- ・様々な御意見・考え方があると思いますが、起承転結を守って進めてほしい。ご活躍願っています。
- ・市政モニターの質疑に対して、市長が丁寧に答えられていたので印象に残りました。
- ・意見交換の場ではモニターの意見陳述が長い。別紙でまとめてられているので端的に述べてほしかった。
- ・いろいろな意見が聞けて考えせられました。市では多くの課題に取り組んでいることがよくわかりました。問題解決にも市民が知る以上に対策をしていることもわかりました。市民側の方がどちらかという
と押し付けてしまっているのではないかとも思いました。
- ・市長のお話と質疑。やはり「聞く」というセレモニーを「やりましたよ」という事実を作るための会という感じでした。「聴く」という姿勢は見られませんでした。
- ・発言の途中でヤジというか怒号というか発言の邪魔をするものがありました。司会者の制止注意がなければ。
- ・全体的に、具体的に解答していただき、ありがとうございます。
- ・できない理由をさがすのではなく、必要なら何がなんでも成功させてやるぐらいの気持ちでやってほしい。
- ・今回出席されたモニターの皆様、現市行政への期待と関心を持った市民の集まり。会議を通しの実感でした。対して市長から30件、70件余、主要行政全てを取り上げて拝聴させていただけるチャンス。市政モニターの特権でしょうか。そして明日からの情報に繋げて行政、ありがたいとの思いで、さらにこれだけの資料の準備ご苦労様です。

【市政へのご意見、ご提言】

- ・総合運動公園整備基本計画に載っている駐車場がとて少ないように感じます。グリーンフィールドも、大変駐車場が少なく、サッカーの利用者がいつも困っております。どうか駐車場を一番に考えていただきたいと思います。
- ・自治会に市が加入促進を図るのであれば、自治会の活動における政教分離が出来ていない状況（自治会員は神社の氏子、お寺の檀家、太鼓台への参加・寄付、それらのお世話等）がある中、行政が加入促進をするなら必要最低限の組織（市の連絡網、防災対応等）でないと、個人の心情に踏み入れることが懸念されます。
- ・ごみの収集において、ごみステーションへの管理として、自治会に支援金を支給されていますが、私の住む小さな団地にごみステーションがあり、団地内で管理していますが、自治会を脱退したので、市に支援を要望しましたがだめでした。街灯の時もだめで、みんなで負担して、街灯を設置しました。同じ市民でありながら、自治会への入会を条件にするのは不公平（今の状態の自治会組織としての活動なら加入できない）だと思います。
- ・中途、最終検証を行って見える化を進めてください。
- ・移住計画に対して、東京から別子山へ地域おこし協力隊で着任した、元小学校教諭の家族が1年間で辞められて引っ越していかれました。その時の協力失敗談をYouTubeに投稿すると、300万近くのアksesがあったとのこと。市のHPにもこの家族の着任時の様子が出ていますが、上記に対する市側の真相コメントが発表されていないように思うのですが、「住み続けたいまち、四国一」に逆行する出来事ではないでしょうか。
- ・学校の環境、緑、木々の保守を実現していただき、小中高校の子供たちが校庭でも緑に触れるよう願います。
- ・地域商品券、家族人数によって変わるべき。1人家族でも5人家族でも1セットは不公平。
- ・テニスコートがない総合運動公園とのことですが、防災に関しては本格的なものにしてほしい。今の段階では言い訳のような防災公園のように見える。
- ・40歳以上のサッカー大会の可能性を今調べています。話だけでも聞いていただければよろしいかと思えます。新居浜を活気づけるにはぜひ必要かと思えます。
- ・今回の対象外でしたが、別子山は新居浜市のあらゆる宝ではないでしょうか。地理的、交通面でも四国中央市にならなかったこと、先人への感謝の一言です。何しろ別子山は将来の東京・軽井沢ならぬ新居浜の、愛媛の、四国の軽井沢とは如何でしょうか。
- ・最近地域協力隊の件がニュースとなり気がかりでしたが、新たな隊員に市長が委嘱状を交付されたとのこと。安堵の思いです。有機農業自然農法でご活躍とのこと、ありがたい限りです。お元気で目標達成祈念です。（市政だより2月）

～ご協力、ありがとうございました～